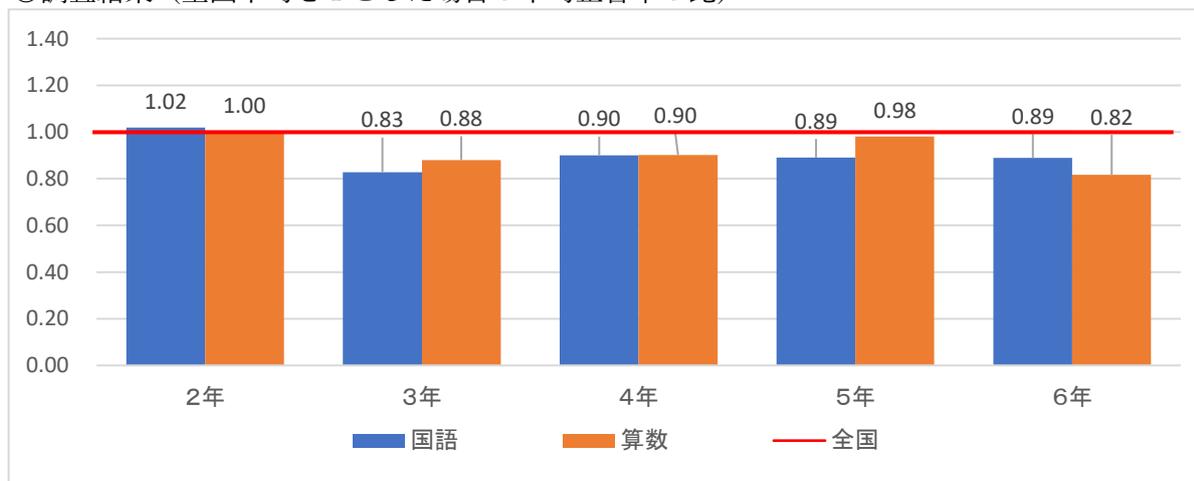


令和6年度 全国学力・学習状況調査及び寝屋川市学習到達度調査について 第二中学校区 桜小学校

○調査結果（全国平均を1とした場合の平均正答率の比）



※小学2～5年生は寝屋川市学習到達度調査、小学6年生は全国学力・学習状況調査の結果

○調査結果についての分析、今後の改善方策

寝屋川市学習到達度調査	国語	漢字の書きとりに課題がある。ドリル練習や日頃の作文指導の際に漢字の使用を意識づけていく。
	算数	基礎的な内容の定着が不十分であったため、基礎定着のための時間を設定し、全校で取り組んでいく。
全国学力・学習状況調査	国語	漢字の使用を含めた言葉の特徴や使い方に課題が見られた。授業の中で言葉について意識して取り組んでいく。
	算数	「データの活用」領域に課題が見られることから、日常生活でのデータの活用例など、児童の関心意欲が高まるような授業を行っていく。
	質問紙	「自分と違う意見について考えるのは楽しい」「話し合う活動を通して自分の考えを深めたり広げたりする」の設問に対して肯定的に回答した児童が全国平均を下回っていた。ディベートや授業での話し合う学習活動に重点的に取り組んでいく。

○学力向上の取組

【 中学校区 】

- ・寝屋川方式の学習を基に、毎回の授業に対して「真心の授業」を実践する。
- ・校区学力部会で各種学力テスト及び質問紙等の分析を行い、結果と課題を共有する。
- ・分析結果を利用した課題克服の手立てを共有し、主体的な学習者の育成をめざす。
- ・校区3校の公開授業を実施し、9年間のカリキュラムに基づく教科指導の充実を図る。
- ・今年度は自己調整力の向上を校区の課題として、合同研修の実施や取組の交流を行う。

【 学 校 】

- ・基礎的な事項の定着を図るための朝学習の取組
- ・各種学力調査結果の分析に基づく本校児童の課題を克服する授業の工夫
- ・読書に親しむ習慣を身につけるための手立ての実施